

医療安全教育セミナー2012春季 - リスクコミュニケーションの実習 (第4回)

リスク改善のためのコミュニケーション能力の技術

会場：2012年4月7日(土)～8日(日)

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター・ホール/多目的スペース (定数250名)

東京都文京区本郷7-3-1。地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大赤門近く。

主催：国際予防医学リスクマネジメント連盟

受講対象者：学会員、医療施設経営者、医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、学生、市民、その他

趣旨：本教育プログラムは、高度な医療安全活動のために必要となる、医療者と患者・遺族ないし医療従事者間のリスク・コミュニケーションに関する最新の技術習得を与えるものです。2010年3月の第1回目からの継続セミナーですが、まったくの新規の実習です。

2012年4月7日(土)午前9時30分～午後5時

■全体ガイダンス ■午前9時30分～午前9時40分

■ 講義 ■ 午前9時40分～午前12時 「医療安全とコミュニケーション」
荒木 登茂子 九州大学大学院医療経営・管理学講座医療コミュニケーション分野教授

■ 演習 ■ 午後1時～午後5時
「コミュニケーションのギャップが発生する状況のアセスメントとアサーショントレーニング」
指導担当： 荒木 登茂子

(内容) コミュニケーションの問題があったと考えられる医療現場でのリスク場面を取りあげ、リスクを改善するためのコミュニケーションの具体的な改善点を検討する。今回は、小グループでの実技を通して、コミュニケーションのスキルアップを図る。

2012年4月8日(日)午前10時～午後4時

■ 講義 ■ 午前10時～午前12時 「医療コーチングの基本知識」
出江 紳一 東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授

(内容) コーチングは相手の自発的行動を促進し目標達成を支援するコミュニケーションです。医療分野では、医療面接、研修医指導、チーム医療などに活用されています。本講演では、私達が行ってきた研究を中心にこれまでのエビデンスを概説するとともに、東北大病院での実践事例を紹介し、今後の課題と展望を述べます。

■ 演習 ■ 午後1時～午後4時
「患者中心のチーム医療のための医療コーチング技術トレーニング」
指導担当： 出江 紳一

参加申込締め切り: 2012年4月2日

定数(250名)になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療安全教育セミナー2012春季 —医療安全管理研修会事務局

国際予防医学リスクマネジメント連盟本部
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-2-103
(Tel / Fax) 03--3817-6770
(電子メール) urmpm-head@umin.net

研修会ホームページ <http://www.urmpm.org/J/RC2012/>